

尾崎＝ゾルゲ研究会 通信 創刊準備号02 2022年10月10日(月)

# 尾崎＝ゾルゲ研究会「通信」 創刊準備号02

## 尾崎＝ゾルゲ研究会設立準備会 第二回研究会開催される！

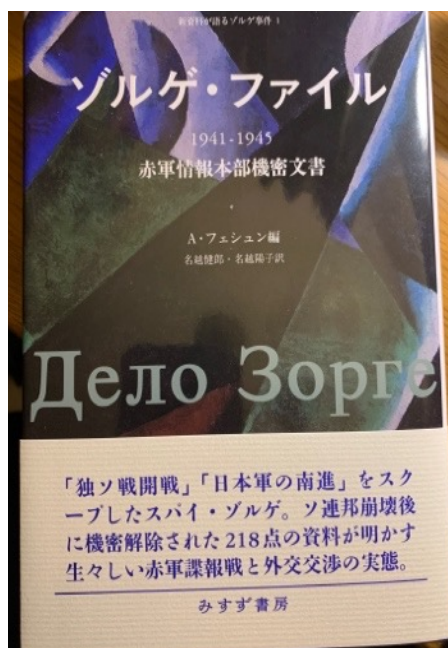
去る2022年4月8日(金)14時から霞ヶ関コモンゲートにある愛知大学東京霞ヶ関オフィスにて、尾崎＝ゾルゲ研究会第二回研究会が開催されました。冒頭、加藤哲郎本準備会会長挨拶の後、鈴木規夫本準備会事務局長の司会のもと、まず、**島田大輔 (JSPS特別研究員PD)** さんによる「東京朝日新聞の中国専門記者、太田宇之助と尾崎秀実の中国認識と関係性」と題する報告がありました。ついで、清水亮太郎、進藤翔太郎両事務局メンバーを聞き手に、『偽りの烙印』をはじめ、これまで尾崎＝ゾルゲ研究に多大の貢献頂いている**渡部富哉 (社会運動資料センター代表)** さんへこれまでの尾崎＝ゾルゲ研究のあれこれを、貴重な証言とともに伺うことができました。

なお、島田報告のPTTはこの通信お送りするメールにサイズを大分落とした形で添付致しております。研究会の様子は、後日編集後動画ファイル公開の予定です。

## 尾崎＝ゾルゲ研究会 発足記念研究会 開催予定！

**2022年11月7日(月) 14時～16時30分** 於:**愛知大学東京霞ヶ関オフィス (霞ヶ関コモンゲート西館37階) + ZOOMにて開催**

いよいよ来る11月7日(78年前の1944年のこの日、尾崎秀実、リヒャルト・ゾ



ルゲの死刑が執行されました)、尾崎＝ゾルゲ研究会が発足します。

それを記念して開催される今回の研究会のテーマは、みすず書房からこの10月に上梓された、『ゾルゲ・ファイル』↑をめぐり編者の**アンドレイ・フェシュン (モスクワ国立大学東洋学部)** さんと、電文ロシア語の日本語への翻訳をなされた**名越健郎 (拓殖大学)** さんとの、モスクワと霞ヶ関をリモートで繋いで行われる対談です。OS研からも加藤哲郎、鈴木規夫、進藤翔太郎が聞き役となり、この『ゾルゲ・ファイル』の現代的意義を議論することになっています。

なお、前回同様、愛知大学東京霞ヶ関オフィスではスペースの関係で対面参加の人数に制約ありますが、ZOOMによるリモートでも同時に開催 (いわゆる



るハイブリッドにて) 致します。

お申し込みは、以下のフォームよりお願い致します。あるいは、本準備会事務局までメールなどにてお知らせ下さい。

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfgzpMgAEJTjhzEjTGI4I27v5KOUMisBaeARoALGFRgSCuu4w/viewform?usp=pp\\_url](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfgzpMgAEJTjhzEjTGI4I27v5KOUMisBaeARoALGFRgSCuu4w/viewform?usp=pp_url)

尾崎＝ゾルゲ研究資料蒐集、聴き取り調査の実施について引き続き、是非ともご協力のほどお願い申し上げます。ご用の向きは、以下の事務局へご一報頂ければと存じます。

**尾崎＝ゾルゲ研究会設立準備会事務局:**  
愛知大学名古屋校舎鈴木規夫研究室 気付  
norioszk@vega.aichi-u.ac.jp